

(第九部)

(四一六)

## 第二回 參議院農林委員会會議録 第十六号

昭和二十三年六月二十六日(土曜日)午前十時五十五分開会

本日の会議に付した事件

○指定農林物資検査法案(内閣提出)

○家畜傳染病予防法の一部を改正する法律案(内閣提出)

○獸医師会及び獣師会の解散に関する法律案(内閣提出)

○委員長(神見義男君) これより委員会を開会いたします。速記を止めて。

午前十時五十四分速記中止

午後零時一分速記開始

○委員長(神見義男君) 速記を始めます。それでは一應休憩いたしま

す。

午後零時二分休憩

午後二時五十三分開会

○委員長(神見義男君) それでは只今から午前に引続いて委員会を開いたります。

最初に指定農林物資検査法案を議題に供します。昨日に引続いて質疑を継続いたしたいと思いますので、どうか御発言願いたいと思います。それから、昨日委員長から申し出て置きましたが、太產關係の物資がこの中に入つてありますので、私から水產委員長と連絡を取ることにいたしました。水產委員長としては専研究せられることと思いましてが、専研究せられることでは、大体委せると、こうしたことなどさいましたが、専研究せられることではありませんが、専研究せられた時のお話では、まことにいたしました。水產委員長が出るかも分りません。それ

だけちょっと附加えて申上げて置きます。それでは藤野さん。

○藤野繁雄君 指定農林物資検査法案の別表を見ますと、食糧事務所で検査をするものと、都道府縣知事で検査するものとの二通りがあるのです。

この二通りに区分したところの理由はどこにあるのですか。そのものと二通りがあるのです。

基準をお示しを願いたいと思うのです。

たならば、薪炭であるとか、木材とかいうものを都道府縣知事の検査にしたところの理由はどこにあるのですか。

次に食糧事務所は現在においても供出配給に非常に多忙を極めておるのであります。その食糧事務所が更にこういふようないろいろのものを検査するといたしましたならば、「一方の方において重要な食糧品の供出、配給に支障を來だすような處ではないか、又一方の方においては、重要農林物資の検査に支障を來だすことはないか。要し

ますのに、二兎を追うては一兔を得な

いのであります。が、これに対する政府の対策は、どういうふうにお考えにならぬが、そういうふうに考へられる

が、そういうふうなものは問題がないのであるがどうであるか。要しますのは、予算全体についてもそういうふうな点について御説明をお願いしたいと

思ひます。

○政府委員(山添利作君) 第一点の御質問は、食糧事務所においていろいろ

検査をしておるようなところもあるのをすべて全面的に國官といたしましてが、結果検査の準備を來だすようなこと

がありますが、今回こういうようなものをするために國官といたしましてが、結果検査の準備を來だすようなことがあります。

そこで、成程肥料にはそれへ保証票を附けるのですが、この検査は

う御質問であります。これは法律としては新らしく出してありますけれども、やることの内容は決して変わらないのです。

○藤野繁雄君 今予算を見ますと委員会に合格するかどうかということを、調べるのであります。水産肥料のことであります。それは新らしく出してありますけれども、やることの内容は決して変わらないのです。

これはいろいろ段階がございます。そ

ういう点から府縣で特に検査をいたすところの点の内訳は決して変わらないのです。

これは御承知のように元は食糧検査員が縣の役人であった。それが國の管理

あります。それで食糧事務所の方の系統に移管をされて食糧事務所の方の系統の人になつた。その機会に縣でやつてあります。ここに挙げておりますよ

うな品目の検査は縣の食糧事務所がやる建前で、これを國の機関たる食糧事務所に委託をしてやつておるというの

が現状であります。そういう沿革から

来ておるのであります。現状通りやりますから、別に植えることもなければ減ることもない、即ち何らの差支はない

のであります。

○藤野繁雄君 今予算を見ますと委員会に合格するかどうかと云ふことを、

比較的少い数字になつておるかと思うのですから、おのずから全体の経費の中

で運用を付けねばよいのであります。

これは予算の実施には支障を來ださない

つもりであります。

○藤野繁雄君 今予算を見ますと委員会に合格するかどうかと云ふことを、

手当及び給料は委員手当が十人分に

ありますから、おのずから全体の経費の中

で運用を付けねばよいのであります。

一方は五人乃至十人のが四委員会であります。

これは予算の実施には支障を來ださない

いじやないか、こう思うのであります。

それから先づきの専門委員会がありましても四つの委員会があつて、一つの委員会に十人乃至二十人ということ

であれば、この予算のよう

に十人にして

は余りにも懸け離れて別な方を流用すればよいとは言うものの、何だかおかしいような気がしないかということと、先づ質問しました薪炭及び木材というような、配給統制をするところのものを國當にすることとは、これはどうであるか。

○政府委員(山添利作君)　お尋ねになりました点を落して恐縮であります。が、都道府縣知事がやつておる中の薪炭、木材、これは國で統制したらどうかといふ御意見でございますが、成る程検査事務、どうものは殆んど國の行なう事務でございますので、重要物資についてはできるだけこれは統一するということが趣旨として望ましいことだと思いますが、實際の運用上から申しますと、おのずからそこに財政の点も考慮いたさなければならんし、それから検査員は検査だけかと言ひますと、そうでもなくて、その他の仕事もやつておるというのが実情でござりますので、当分ここに分けてあるような状況で進んで行きたいと考えておるのあります。

○委員長(橋見義男君)　それから予算の点であります。が、配付した資料の中には各種別の委員の数は、それは各種別の委員ごとにおいたといふことでござりますので、差異などはございません。

○委員長(橋見義男君)　それからちよつと先程政府側から提出に際して断わりを附けておられたのを委員長から申上げるのを忘れたのですが、この予算はまだ確定的の予算ではなくて、二番目に書いておりますように大藏省と予備金支出について目下折衝中の未確定の予算だそうでありますから、従つていろ／＼不備の点がありますれば、御

指摘を願つて完全な予算のできるようになれば尚結構だと思います。そういうう含みで以て御審議願いたいと思いますが、その点はどうですか。

○島村重次君 予算を見ると予備金支出の折衝中とありますが、その金額九百九十六万三千余円は只今農政局長の御説明によると、法律は新らしいけれども、実質的に差異はないといふ点と矛盾するように思いますが、その点はどうですか。

○説明員(細田茂三郎君) 只今農政局長から現行のままだと申上げましたのは、食糧事務所が都道府県の委託を受けて検査を実施しておる、そういう点についてそれを國營機査に移しても、実質上委託検査をしておつたものを今まで國營機査に移すのだから変りはない、そういう点だけございまして、予算の方を請求すると、今まで國營機査の予算がなかつたのに國營機査の予算を請求する、そういう点は現行のままでないのです。それでこの予算ではないのであります。それでこの予備金支出の予算の点につきましては大体手数料收入で賄い得る程度の予算を請求してございます。

○島村重次君 只今御配付になりました予算ですから、まだ内容を検討するの暇がありませんけれども、この予算を見ると歳入二千万円であり、歳出一千九百万円とあります外に、農林物資の企画審議に要する経費九十六万四千円とあります。一千九百余万円にアラス九十六万四千円と解してよろしくか、それからその内訳の企画審議に要する経費二十四万一千円は、これは前年の審議に要する九十六万四千円の中でござりますが、その点と、それからこの府縣であつておつたものが、國へ移

るとしているものと、それから府県限りでやると、二つあると思うんですが、從来府県でやつておった手数料と、今回の手数料との大凡の値上りの比率はどういう点になつておりますか。その点を一つ……。

○説明員(細田茂三郎君) 只今予算の点につきまして、御質問がありましたのが、予算の点につきましては、そこに上つております九十六万四千円と申しますのは、四つの審議会に要する費用としたまして、大体合計四倍したのをございまして、その次にござります二十四万一千円というが、一審議会に當りの経費という意味でござります。ございましますから、九十六万四千円と申しますのは、前の予算にプラスして計算すべきものと存じます。それから検査手数料の点につきましては、一臨現行の今まで予定してござります。

○板野勝次君 この國富検査をやうなければならない点がどうも理解できなんですが、過去において、いろいろな團体がやつたその検査の実際の状態はどういう効果があつたのでしようか。その点をちよつと承りたいと思います。

○政府委員(山添利作君) 過去におきましたとして、工業製品又は水産物或いはこの其種品等の工業製品につきましては、業者團体で検査をすると、規則の根拠は法令でありまして、又團体にやらしてもよろしいというのが通例であつたのであります。そういうことは大体業界に通じた人がそういう専門的な知識を持つてやるということは、それ自体としては必ずしも悪いことではなかつたのであります。併しこの新らしく法制下におきましては、大体の觀念

として、公の権力に基くようなことは、政府としてやる。或いは公共團體自身がやる。こういう制度になるかと思ひます。そういうことに切換えられておられます。又業者團体法等も、この國会に制定される見込であります。それから検査をやることができますけれども、それは任意検査であります。そういうような新らしい最近における法律上の觀念の相違ということが理由だと思います。

○政府委員(平野善治郎君) 只今板堅さんのお話がありましたが、政府が開いた検査を励行するということは、提案理由でも御説明申上げました通り、弊來のいろいろな検査の制度を見ますと、いうと、実際の今のこういうような統制経済を施行して行く場合において、或いは現在の日本の小企業の難多さなどを統一して、進歩発達を図る上に、とても、今までのものでは、不十分なものと、數々の点があつたので、これを統一した國の検査をしながら、指導して行つた方がよろしいと、こういうふに考えまして、この制度を採つたようになります。

○山崎恒君 この規格の統一をするという趣旨は、十分了解しておるのですが、りますが、殊にこの全國的に亘る規格の統一をする場合に、このいろいろの品目があるんですが、これは北の北海道の方から、南九州まで亘る間に、おのれ地方色によるところの從来の製品規格、というものがあつたと感うのであります。これが全國統一的な規格にできるかどうか、同時に、さよになになりますれば、検査をするところの官吏に対して、一定の能力を、技術を與えなければならん。それには、従来はこういうまちくな、自分でやつておつたものでありますから、この統一ある検査の技術というものをやはり訓練するのであるかどうかと、うよがなことをお聞きしたいと思ひます。

次に、只今の、先程の御説明では、從來の收入予算と變りがない、といううな御意見であります。が、近く物價調定がされるであろうところの情勢によります現状におきましては、物價が改

いろいろ不備の点がありますれば、御

の府県をやつておつたものが、國へ移

し法制度におきましては、大体の觀念

いち確信があるんでしようか。

ります現状におきましては、物價が改

訂されますれば、やはりこうした検査は手数料は改正されるであろうかどうか、縣ことに、自主的検査をしておつたのであります。この検査員といふもの

をどういう工合に処理されるか、こう

いう点をお聞きしたいと思います。

○政府委員(平野善治郎君) 只今山崎委員の御質問であります。が政府といたしましては、できるだけ規格を或る程度まで少くして、そろして全國的な統一を図つておるのであります。がもどより只今お説のように、いろいろな個々の地方によつて、必ずしも同じ製品を持つというわけに参らぬ。そういうよ

うなことも十分加味して、全國的に不便のないよう、而もできるだけ規格を少くして行く。こういう方針で進んでおります。又規格をそういうように進めて行く際において、官吏の能力に

向上のため万全の策を立てたい。こ

ういうふうに考えております。尙物價改正に伴なつて検査料の値上をするのであるかといふ。お尋ねであります。専門の能力のないことは、今までの検査員をそのままその能力を活かして引継いで行きたい。こういうように考えております。

○北村一男君 検査をすれば合格品が出るわけであります。が、この不合格品をどういうふうに処理なさるおつもりであるか。從來地方々で検査をしておりますときには、これは適当に処理されておる。國で検査をして不合格

になつたものはどういうふうな処理なさるか、その点お伺いしたいと思いま

す。法律の中にも書いてござります通り、

不合格品はこれを取引の対象にできな

いのあります。

○北村一男君 取引の対象にはできなか、それが少い量ならばよろしくけれども、相當量に達した場合においてはどういうふうな処理をなされるか。

○政府委員(平野善治郎君) 只今お話を伺つたのはどういうふうになりますか。それが少い量ならばよろしくけれども、相當量に達した場合においては、やはり今までやつたように

作る場合においても全然各等級にも該当しない、というような、そういうものを作りたいとして御もござりますが、この意識的に作る方は実際問題としてはないのではないかと思ひます。法律の中に不適合品でも何でも取引の対象になるということになると、これは

象になるということになると、これは

意識的に國家の資材を使つて、そうして使ひものにならんものを作ることを認めますので、書いてあります。が、實際問題としては作る人も一生懸命になつておりますので、各段階の或る等級のと二種に分かれています。数量

只今のところ値上をする意思はありません。尙今までの検査員をどうするか、ということは、今までの検査員をそのままその能力を活かして引継いで行きたい。こういうように考えております。

○羽生三七君 この法律が必要であるかどうか、という根本的な問題については、板野さんと私は同様な疑問を持っています。板野さんと私は同様な疑問に感することは、薬品から始まりつて佃煮から菓子に至るまでの莫大な品種を、何か代表的なものを一つピックアップしてそれを検査されるの

か、菓子から佃煮まで一つ一つこれを

検査のでは何十万の検査員があつ

ります。が、その点お伺いしたいと

ても足りないと思いませんが、そういう

法律の中にも書いてござりますが、この庵

委員のお尋ねでござりますが、この庵

待遇し、住宅も建ててやる、事務所も建ててやつておるのであります。が、もう少し本当に検査に權威あらしめるに

は、やはりお巡りさんと同じで、余り

安い待遇で置いておくといけないか

ら、少し待遇をよくしてやることが必

要ではないかということを美は考えま

す。

そこで次の第三番目は、木炭の検査

せありますが、これは木材の検査と違つて、今は消費地で聞いてみまして

も、产地で聞いてみましても、先ずそ

が、将来はそういうことのないよう

は不可能でありまして、どうしてここ

は或る程度の中から抜取り検査をし

てその品質を確かめる、又製造業者に

おりました通り、いろ／＼抜取り、或

いは或る数量によって検査をするとい

うふうに、やはり今までやつたように

作る場合においても全然各等級にも該

当しない、というような、そういうもの

がございまして御もございまして、

が、いろ／＼統計等がございまして、

作る場合においても全然各等級にも該

当しない、というような、そういうもの

を意識的に作る方は実際問題としては

ないのではないかと思ひます。法律

の良し悪しは別問題として、数量が九

で入つて来ない。價格が合わないから

それで数量が入つて来ないので、それ

では困る。検査するのは、これは誠に

きたい商賣で、北海道でやつておる

のですが、検査員なるものが丸で本当

に賣給でそうしてやつておつて、家に

おつて出で來ないで、持つて行くとあ

のですが、検査員なるものが丸で本当

に賣給でそうしてやつておつて、家に

おつて出で來ないで、持つて行くとあ

のですが、検査員なるものが丸で本当

で、その結果消費者に非常に迷惑を持つておるというようなお話をあります。が、将来はそういうことのないようになります。が、将來はそういうことのないようになります。一段の注意を拂つて質量共に的確なものを生産をして消費者に渡す。こういふように競争努力をいたしたいと。このように考えております。

尚三番目の木炭の検査が非常に杜撰

で、その結果消費者に非常に迷惑を持つておるというようなお話をあります。

○岡村文四郎君 御存じないのだから、今の次官の御答弁は無理もないと

思いますから、これ以上伺いません。

薄荷の検査はそういうものではないと

で、とりおろし検査はそういうもので

ないのとして、とりおろし等級が附

り權威ある検査をして、それによつて、

商品が格付けられ、安心をして買ひ得

るようにするのには、現在の状態では

おつて審議をして決める以上は、やは

り權威ある検査をして、それによつて、

商品が格付けられ、安心をして買ひ得

るようになるのには、現在の状態では

おつて審議をして決める以上は、やは

り權威ある検査をして、それによつて、

商品が格付けられ、安心をして買ひ得



御飯でも待とうというような場合に、ちよいとやるような家庭工業であります。

して、殊にこうした仕事は小学校へ行

うお考えですか。

等外に合格と言つたのですが、その等外

量の大きい皿を沢山現場に持つて行かなければならぬ。そういうことは事

考へられたことがありますか。この

引の実際から考えてみますと、いとつておるような子供達、殊に東北地方におきましては特に数ヶ月間雪に閉ざれておる國でありますので、学校へ行つておる生徒など子供達がこうした

不格品は取引の対象にならないといふことから、例えば一等、二等、三等、等、不合格というようなものになつた

点を一つ伺いたい。

合規品を不格品といふことで行けば、五條の規定に真向からぶつかる

し、その辺を実ははつきりして頂きました。私が申すが、そうしたものでたまゝ國の検査にちよつとしたところで落ちるといふような場合がこれは往々に止んである

が高く取引されておるのであります。

不格品は取引の対象にならないから、山崎君が

うことから、例えば一等、二等、三等、等、不合格というようなものになつた

ならば、「等のものよりも不格の方のものに從事する場合が多いのであります。」

あるようないいとくも、國の検査にちよつとしたところで落ちるといふように閣の対象になるのであります。

す。でありますから如何なる悪いものと雖も、不格品として、その不格品を必ず取引の対象にするという政

府の方針でなくして、この統制は完全に行かない。閣の助長になるということを行なつて顶きました。

と深くお考え下さいて、検査の嚴正を期せられると同時に、閣取引の撲滅のためすべての製品は取引の対象に

するということに御方針をお決めになつた方がいいと思うが、如何ございましょうか。

○委員長(樋見義男君) ちよつと私もその問題に関連して整理上政府に伺う

たのですが、どうも取引の対象にしない

に薬品については殆んど副業である。これを検査の対象にするかどうか、若しするすれば、殆んど或る地域によつては個々の農家が皆やつておる。そういうような場合に、一々個々の農家へ検査員が出張してやるのか、そうでないとするならば非常な交通の利便の悪い山村なんかにおいて、村一ヶ所、或いは郡一ヶ所というような検査所まで持つて行くなんてことは農民に対する非常な不便でありまして、これは非常に苦しめることになると思

うことから、例えは元程お話をなつておられるのは、不格品と言つておられるものは、一等、二等、三等、四等、等外とか、

うお考えですか。

うことから、例えば一等、二等、三等、等外とか、

うことから、例えは一等、二等、三等、等外とか、

○島村重次君 次に眞綿及び眞綿製品の検査であります。この実例から申しますと、私の縣では製品も非常に少いのですが、僅かな人が從来組合で以て極めて簡単な検査をやつておつた、この間の協議会では國に移る今までの経費で、今まで通りやつて呉れということで打合せができたのであります。ところが事実問題としては業者から相当の寄附を取つてやる。寄附を取らねば検査員が出て行つて検査するのに、旅費がない、というような実例であります。従つて経費の問題が出来ると思うのであります。が、國に名前は移るが、事實は業者の寄附金を取つて施行する、というような結果に相成ります。

○政府委員(山添利作君) 眞綿は國營検査ではないのであります。この法律に基いて都道府縣の知事が検査をする義務がある、こうじうことに相成るわけであります。もとより只今のようないい處は望ましい場合はございません。將來改善を要すると思いまして、まあ當面のところは現状に即じて行くより他に方法はないと思ひます。

○板野勝次君 ちょっとお尋ねしますが、曾て民間の團体が自治的に検査しておつたのが、今度は事業者團体法案によると、全然民間で自主的には一切検査できないことになるのですか。

○政府委員(山添利作君) 強制検査はできません。

○板野勝次君 強制検査はできんが、自動的に自治検査はできるのですか。

○政務委員(山添利作君) それは差支ないわけです。その場合は獎勵のため業者が任意に受けて来るということであればよろしい。

○委員長(楠見義男君) わよつとお伺いしますが、別表の中で現在やつておらしもので、新らしく加わるもの、あるいは現在やつておつて、ここに先にも薄荷がありましたか、品目は……。

○説明員(細田茂三郎君) 現在この別表の中で検査を実施していないもので、都道府縣で煉豆炭それから寒天、眞綿、及び眞綿製品、ソース、食酢、種類、育児菓子、瓶詰、これだけは民間團体で今まで検査を実施しております。ただですが、これは物價統制の關係からどうしても事實上の強制検査になるという点を考慮いたしまして、都道府縣知事に委任の形をとつたのであります。

○委員長(楠見義男君) それからもう一つは第五條の「但し、農林大臣の定める一定数量以下」というのは、これは例えば米は入つておるのであるが、或いは省令かなんかで決めるのですか。

○委員長(楠見義男君) 大体よろしく手數料の額の制限という規定がござります。一應物價にも関係いたしますので、手數料を制限して置きたいと思ひます。

○委員長(楠見義男君)

能力がない者が多いのであります。今回検査の実施に当つては、検査員を十分に訓練して初期の目的を達成するよう一層の督励をお願いするのであります。

○政府委員(平野善治郎君) 只今藤野委員から御説明ございましたが、検査をする場合に品質の向上或いは資格の適正といふようなことを嚴重にして商品を立派に仕上げて、よくするよう

にという御説ございましたが、御尤もございまして、政府においてもそこの線に沿うべく、この法案を御審議頼みましては、一應告示で出すつもりでございます。これは配給統制との關係もござりますから、配給統制しておるものが決めて行かないつもりでございます。

○北村一男君 どうも不合格品の問題が解決していいと思います。不合格品とは使用に耐えられないものか、それとも使用に耐えて規格を外れる。こう

○委員長(楠見義男君)

は、特定の個人のためにする事務につきます。然るに今回こういうような検査法を定められた以上は、現在のこの

改正する法律案及び醫師会及び農師会の解散に関する法律案を議題に供かりました。家畜傳染病予防法の一部を改正する法律案及び醫師会及び農師会の解散に関する法律案を議題に供され、この点は只今申上げましたように昨日質疑を終了したのであります

○委員長(楠見義男君)

○委員長(楠見義男君)

は悪くなつてある状況にあるのであります。しかし、その中に手数料を徴収することができる。」

○委員長(楠見義男君) 御異議ないようござりますから、この両案について原案通り御賛成の方の起立をお願いいたします。

○委員長(楠見義男君)

○委員長(楠見義男君)

と資格が落ちたために、検査に十分な能力がない者が多いのであります。今

回の検査の実施に当つては、検査員を十分に訓練して初期の目的を達成するよう一層の督励をお願いするのであります。

○委員長(楠見義男君)

○委員長(楠見義男君)

は、特定の個人のためにする事務につきます。然るに今回こういうような検査法を定められた以上は、現在のこの

改正する法律案及び醫師会及び農師会の解散に関する法律案を議題に供され、この点は只今申上げましたように昨日質疑を終了したのであります

○委員長

◎本問題が承認制検査はできるか  
自主的に自治検査はできるのですか。

常経済になつてかられます／＼その最下位のものを標準として作つて、品質

○説明(総括)(略)  
○地方自治法  
の一百一十一條に「普通地方公共團体

大抵等外に入る、こう考えておりま  
す。

藤野 繁雄君  
松村眞一郎君

政府委員	山崎 恒君
農林政務次官	板野 勝次君
農林事務官	廣瀬與兵衛君
(農政局長)	
平野善治郎君	
添 山	
利作君	
農林事務官	
書課勤務	
(大臣官房文書課勤務)	
加藤 稔守君	
農林事務官	
大臣官房文書課勤務	
細田茂三郎君	

昭和二十三年八月二十三日印刷

昭和二十三年八月二十四日發行

參議院事務局

印刷者 印 刷 局